

平成29年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 地域経営室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市つつじが丘市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの利用の許可に関する事 ・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関する事 ・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関する事 ・その他名張市が別に定める業務

2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	地域づくりに関する学習や啓発的な講座は、地域のニーズや話題となるテーマで実施され、生涯学習支援をされている。市民センター利用者がスタッフとして働き、生きがいを見つけ相乗効果が発揮されている。
地域づくりの拠点(住民の居場所として住民の活動の拠点)としての役	夏休みには、センター2階ロビーを開放し、小中学生の居場所を提供している。 また、センター内の一角を利用してカフェコーナーを設置しており、センター利用者はもとより、話をすることを楽しみに来られる住民も多く、年間約15,000人の利用があり、地域住民に交

割を果たしているか	流・いこいの場を提供している。
-----------	-----------------

3 施設設置者（名張市）の総合評価

つつじが丘市民センターは地域の中心に位置し、周辺には学校や郵便局、医院、老人福祉施設、商店等があることから、地理的にも市民の生活においても利用しやすい位置にあり、生涯学習や地域活動の拠点としての機能を果たしている。サークルは77団体が活動し、部屋の利用率も高い。また、カフェの設置による交流やいこいの場の提供に加え、本年度は夏休み期間中2階ロビーを小中学生に開放し居場所を提供するなど、地域の拠点としての機能の向上を図っている。

当センターでは、今後、5年先のセンターのあるべき姿を考え、運営を進めるとのことであり、つつじが丘・春日丘自治協議会では今年度において地域ビジョンの見直しを実施することである。双方が連携と調和を図り、車の両輪となった計画と活動を期待する。